

文化活動の状況

Ⅲ 文化活動の状況

ここは、市民会館、公民館、図書館及び体育館を除く社会教育の諸活動を述べます。この分野には社会教育全般の事務と文化財関係、青少年健全育成関係の事務事業があります。

1. 奨励・援助

市民の皆さんの行う社会教育の活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行った。

(1) 社会教育関係団体の状況

平成8年3月31日現在

分類	団体名	責任者	会員数	組織及び活動
少年 年 団 体	ボーイスカウト	森田治男	人 259	ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊 シニア隊、ローバー隊 福生第1団
	ガールスカウト			訓練活動（キャンプ） 福生第2団
	福生市連合育成会			東京191団
				奉仕活動、リーダー研修
成 人 団 体	福生市文化協会	小林菊三	人 3,600	加盟団体 119 市民文化祭、文化教室 文化団体の育成活動補助、発表会
	福生市公立小中学校PTA連合会	副島正巳	人 5,630	加盟団体 10 球技大会、講演会 非行化防止パトロール
	福生市体育協会	設楽清一	人 5,300	加盟団体 18 定例会、各種スポーツ教室 市民総合体育大会 都民体育大会

2. 第26回 市民文化祭

(1) 趣 旨

- ① 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場を作り、今後の発展をはかる。
- ② 未参加者の文化活動への参加、各種活動の育成を促す。

(2) 主 催

福生市、福生市教育委員会、福生市文化協会

(3) 実行組織

実行委員会構成

- ① 文化協会役員
- ② 出展、出演団体の代表者
- ③ 教育委員会社会教育課、市民会館、公民館、図書館職員

(4) 期 日

11月3日（金） ・ 4日（土） ・ 5日（日）
11日（土） ・ 12日（日） ・ 18日（土）

(5) 場 所

展示関係 市民会館、公民館、福祉会館、中央図書館、プチギャラリー
演示関係 市民会館大・小ホール、公民館、福祉会館、福庵

(6) 運営方針

- ① 同種目については主管団体が処理する。
- ② 個人及び団体、一般からの出展、出演についてはすでに主管団体があるものはその団体が、
新種目を行う団体は、その団体が主管し個人のものは教育委員会が主管する。

(7) 参加内容の限定

- ① 市民の活動であること。
- ② 市民を対象とした文化事業であること。

(8) 参加対象

全市民（在住、在学の個人及び団体）とし一人一点に限定

(9) 全般的事項

① 文化祭実施要綱の決定

② 開場式 11月3日(金) 午前9時30分

市民会館小ホール

③ 準備過程

ア 広報 (ア) 公募 8月1日発行のお知らせ

申込締切 8月22日

(イ) 日程内容の周知

広報 10月15日

ポスター 10月初旬 250枚

(ウ) プログラム

5,000部

イ 案内状 総合プログラムと一緒に実行委員会で送る。

主管団体毎の招待状は各団体で行う。

ウ 主管団体必要物品

(ア) 指定様式に記入提出

(イ) その他必要品

エ 役員委嘱

実行委員会に委嘱状を交付する。

オ 委託料の交付

836,000円

(10) 実行委員会日程

第1回	9月2日(金)	午後7時30分	市民会館4・5集会室
第2回	9月13日(火)	午後7時30分	演示関係 市民会館4・5集会室
第3回	9月21日(水)	午後7時30分	展示関係 市民会館4・5集会室
第4回	9月29日(木)	午後7時30分	合同 市民会館4・5集会室
第5回	10月14日(金)	午後7時30分	合同 市民会館4・5集会室
第6回	12月16日(金)	午後7時30分	反省会 商工会館3階ホール

(1) 実施内容

平成 7 年度参加団体

演 示	153団体	行政関係	2 団体
展 示	56団体	行政関係	2 団体 個人 6 人
計	219団体・個人		

※ 期間中の延一般入場者数 約 7, 0 0 0 人

3. 成 人 式

(1) 趣 旨

市民が新たに社会の仲間入りをする成人者を祝い、励まし成人者が改めて成人する意味、意義を確認し合う場として、また今後は、社会の担い手として、独立した主体者として生活して行くための機会とする。

(2) 主 催

福生市、福生市教育委員会

(3) 期 日

平成 8 年 1 月 15 日 開式午前 11 : 00 福生市民会館大ホール

(4) 実施内容

式 典 開式、君が代 主催者あいさつ

祝辞 来賓紹介 主催者紹介

アトラクション お笑いタレントによるコント&パフォーマンス

(出演 長井秀和、カマキリバンド、チビッコ)

(5) 出席状況

成 人 者 数		出 席 者 数		出席率
男	4 4 6 人	男	2 5 4 人	57.0%
女	4 2 1 人	女	2 6 0 人	61.8%
合 計	8 6 7 人	合 計	5 1 4 人	59.3%

4. 社会教育委員の活動

社会教育委員

社会教育委員制度は、社会教育法第15条に基づいて設置された市民参加の審議機関であり、当市は、昭和37年以来、任期2年定数10名で構成されています。各委員は社会教育全般にわたり調査、研究、計画の立案及び教育委員会からの諮問に、市民の立場から教育長を通じて教育委員会に答申する機関です。

会議等開催状況

開催日	場所	会議名	内容
平成7年4月15日	東京都立多摩社会教育会館	市町村社会教育委員連絡協議会定期総会	平成6年度事業報告・収入支出決算報告 平成7年度役員選出 〃 事業計画・収入支出予算 記念講演「高齢化社会の到来と社会教育の役割」
5月17日	中央体育館会議室	社会教育委員の会議	平成7年度社会教育関係団体補助金について
7月14日	秋川中央公民館	都市社連協第1ブロック役員会	第1ブロック研修会について
7月25日	横浜こども科学館	社会教育委員日帰り視察研修会	社会教育施設見学
8月12日	秋川ふれあいセンター	都市社連協第1ブロック研修会	「生涯学習時代における社会教育の役割」 社会教育を考える
9月13～14日	千葉県鴨川市	関東甲信越静社会教育委員研究大会	「地域の特性を生かした生涯学習社会の創造」 社会の変化に対応した社会教育の推進
10月6日	中央体育館会議室	社会教育委員の会議	新委員への委嘱状交付及び正副議長の選任 行政報告について 関東甲信越静社会教育委員研究大会の報告
11月8～9日	和歌山県県民文化会館	全国社会教育委員研究大会	現代的課題に対応する社会教育のあり方を考える
11月26日	府中市生涯学習センター	都市社連協全体研修会	豊かな高齢化社会を迎えるために生涯現役で生きる
平成8年2月21日	中央体育館会議室	社会教育委員の会議	平成8年度社会教育計画及び社会教育関係予算について

5. 生涯学習

福生市生涯学習審議会

当市の生涯学習計画策定に資するため、平成5年9月30日に福生市生涯学習審議会を設置し、審議を行ってきた。平成7年8月19日付けで『豊かな魅力ある「人づくり」・「まちづくり」をめざす生涯学習』を答申した。

審議会の開催状況

回	開催年月日	審 議 内 容
16	7年4月10日	項目（章立て）別の修正ならびに討議
17	5月15日	項目（章立て）別の修正ならびに討議
18	6月19日	項目（章立て）別の修正ならびに討議
19	7月3日	項目（章立て）別の修正ならびに討議 起草委員の選出・前原副会長、秋山、杉山、武村、鳥居、長谷川委員
	7月17日	起草委員会（答申案の文章化）
	7月23日	起草委員会（答申案の文章化）
20	7月27日	答申案について討議
21	8月7日	答申案について討議・最終確認
22	8月19日	答申案の最終確定・市長に『豊かな魅力ある「人づくり」・「まちづくり」をめざす生涯学習』を答申

6. 文化財保護事業

文化財保護行政の役割は、文化財を文化遺産として後世に伝えるという保存事業と文化財保護思想の普及、さらに文化的向上に資するために資料として活用するという活用事業に分けることができます。本市では、昭和48年に文化財保護条例の制定、そして昭和54年の改正によって保護行政の充実と強化をはかってきましたが、さらに平成3年4月1日より文化財の浅く広い保護を目指す文化財登録制度の導入を行い行政の推進をはかっています。平成7年度には新たに3件の文化財を台帳に登録しました。その結果、現在、市登録文化財は52件となりました。

また、本市が昭和57年度以来進めて来た市史編纂事業が平成6年度に終了したことにもない、その成果である刊行物、市史本編（上下2巻）、資料編（考古編、他10編）及び研究誌（17号まで）、さらに編纂に用いるために収集した近世文書、他の文献類、また作成したマイクロフィルム（179,650コマ）などが文化財係に移管され、新たにその保存と管理、頒布、情報提供、等々の業務が加わりました。

文化財の保護は、市民一人一人の保護意識が高揚してはじめて成果のあがるものです。そのため、文化財保護の理解の推進と文化財の活用を目的として様々な学習の機会の設定に取り組み実施しました。また、日々進行する地域の都市化とそれに伴う生活様式の変化による文化財の変容と消失が進むなかで文化財総合調査を行い、所在の確認と記録の作成を行いました。

郷土資料室は、文化財保護活動普及の場としての展示活動、文化財保管の場としての文化遺産の収集、さらに収集した資料を情報として市民への提供、等々の活動を行っています。特に、収集した資料の保管を正確に行い、また、学校教育、社会教育への提供、さらに市民、研究者への情報の提供をより迅速に行えるようコンピューターを導入し、資料管理を行っています。

(1) 文化財保護事業方針

- ① 市内の学術上貴重な文化財を登録台帳に登録して保護する。
- ② 登録文化財のなかで特に貴重な文化財を市指定文化財に指定して保護する。
- ③ 登録、指定に必要な資料を得るため文化財総合調査を実施して所在と分布の確認、記録の作成を行う。
- ④ 文化財総合調査の成果及び市史編纂事業の成果は、報告書等によって公表し、市民の学習、研究活動等に活用する。
- ⑤ 市民の文化財に対する学習の機会を保証し、収集した情報の提供を行う。
- ⑥ 市民の文化財に対する保護、活用等の活動に対し、奨励、援助、指導等を行う。

- ⑦ 環境や生活様式等の激変にともない破壊、消失しつつある文化財を収集し保存する。
- ⑧ 郷土資料室において文化財、歴史的環境の保護、保存、活用等のための普及事業を実施する。
- ⑨ 行政事務担当における事務等の整備、確立をはかる。

(2) 郷土資料室の事業

- ① 資料の収集
- ② 資料の整理・保管
- ③ 資料の調査・研究
- ④ 資料の展示・教育普及・情報提供

(3) 文化財保護事業の実施状況

① 文化財登録実施状況

指定文化財に比べて浅く広い保護施策を目指す文化財登録制度を導入していますが、平成7年度に登録台帳に新しく登録した文化財は3件です。

No.	名 称	数量	区 分	所在地	登録年月日
50	森田家旧蔵製糸関係等資料	1 括	市登録有形文化財	熊川850-1	7・11・1
51	森田家旧蔵俳諧等文芸資料	1 括	市登録有形文化財	熊川850-1	7・11・1
52	森田美知子他着用の和服等資料	1 括	市登録有形民俗文化財	熊川850-1	7・11・1

② 文化財総合調査事業の実施状況

(ア) 寺社美術品調査

市内の寺院、神社の所蔵する彫刻、絵画等の調査を行いました。調査は3カ年計画で実施しましたが本年度は最終年度です。初年度は、4カ寺31軀の彫刻を調査し、2年度は5カ寺34件40点の彫刻、絵画等の調査を実施しました。本年度は3カ寺1堂の絵画5点、彫刻13軀を調査し、記録を作成しました。

・調査員（責任者） 斎藤経生氏（女子美術大学教授）

調査員 稲木吉一、小野裕子、河田あすか、牛田りき、原田あゆみ各氏

(イ) 民俗調査

明治初期に製糸業を興し、後に東京地方屈指の製糸工場に発展した森田製糸工場の経営者

である森田家に残されていた和服類他 167点の調査を終了し、昨年度、文化財総合調査報告書第28集として、調査の成果である『福生市の民俗・衣生活－森田家三代のきもの－』を刊行しました。その後、新たに同家から多数の衣類、着物地が寄贈されましたので新たに調査を始めました。

- ・調査員 保坂和子、山崎ヨシ江、森田節子、浅井薫各氏（地域の生活文化を考える会会員）

（ウ）民具調査

郷土資料室収蔵の民具のなかから桶屋の道具を調査しました。

- ・調査員 田野倉紀子氏（日本民俗学会）、岡部悦子氏（郷土資料室臨時職員）

（エ）熊川分水調査

玉川上水分水のひとつ熊川分水の開削の歴史とその後の利用状況等を明らかにするために必要な資料の収集を行いました。3カ年計画の最終年度です。

- ・調査員 天野宏司氏（東京学芸大学院生）、高崎勇作氏、峰岸秀雄氏（福生古文書研究会）

（オ）埋蔵文化財緊急発掘調査

A. 確認調査

1. 14号遺跡（範囲不明確の遺跡）周辺での開発に伴う確認調査を実施しました。

- ・調査地番 熊川1615-1
- ・開発予定面積 1,390平方メートル
- ・発掘面積 200平方メートル
- ・調査期間 8月26日～27日
- ・調査指導者 和田哲氏（立川女子高校教諭）
- ・調査結果 遺構・遺物等は発見されませんでした。

2. 4号遺跡（長沢遺跡）内での開発（駐車場）に伴う確認調査を実施しました。

- ・調査地番 福生1074
- ・開発予定面積 1,069平方メートル
- ・発掘面積 104平方メートル
- ・調査期間 2月17日～2月23日
- ・調査指導者 和田 哲氏
- ・調査結果 縄文時代中期の住居址等が検出され、今後、駐車場以外の開発を計

画した場合、発掘調査実施の必要性が指摘されました。

B. 長沢遺跡第9次調査

埋蔵文化財包蔵地4号遺跡内での開発計画に伴う発掘調査及び整理調査を原因者の経費負担により実施しました。調査は年度内に終了しなかったため次年度に継続しています。

- ・調査主体 福生市長沢遺跡第9次調査会（会長 市教育長、事務局 文化財係）
- ・調査地番 福生市福生1066-1
- ・開発予定面積 2,473㎡
- ・発掘面積 1,100平方メートル
- ・調査期間 7月25日より
- ・調査団長 和田哲氏

③ 文化財保護思想普及刊行物の発行

- ・天然記念物の保護に対する意識の向上と理解を深めていただくために、『ハンドブック福生の自然』を刊行しました。3,000部発行しました。

④ 玉川上水に発生するホタルの研究委託

- ・昭和46年度以来、玉川上水に自然発生するホタルの研究を福生ホタル研究会に委託していますが7年度も委託しました。

⑤ 郷土資料室の運営事業

（ア）資料の収集（寄贈・購入） 16件 5,366点

（イ）資料の保管

A 文化財収蔵庫の建て替え

北田園1-11-10 に設置してあった文化財収蔵庫が老朽化したため、建て替え新築工事を実施しました。

- ・構造規模 軽量鉄骨造、地上2階建
- ・敷地面積 235.84平方メートル
- ・床面積 127.52平方メートル（1階63.76平方メートル、2階63.76平方メートル）

B 資料のくん蒸消毒

郷土資料室内収蔵庫（第1、第2）、展示室、荷解室及び文化財収蔵庫のくん蒸消毒を業者委託により行いました。実施時期は平成8年2月19日です。消毒の概要は次のとおりです。

- ・場 所 第1収蔵庫（98.3㎡）、第2収蔵庫（27.1㎡）、展示室（232.3㎡）、

荷解室(86.2㎡)、文化財収蔵庫(127.52㎡)

- ・対象資料及び目的 民俗、歴史、美術、自然資料の殺虫、殺菌、殺卵

(ウ) 展示、学習会等の教育普及事業

A 特別展示「福生市の中世大量埋蔵銭」

- ・期間 平成8年3月1日～6月16日

平成7年3月に市内熊川から発見された5千枚余の中国公鑄貨幣(最古銭は621年の開元通宝、最新銭は1461年の琉球銭・世高通宝)がどのような歴史背景のなかで埋蔵された銭貨なのか、文献資料のほか様々な歴史資料を貨幣とともに展示して考えてみました。

- ・記念講演会の開催

「福生市の大量出土銭と中世の貨幣流通事情」

- ・講師 嶋谷和彦氏(大阪府堺市教育委員会 学芸員)
- ・日時 平成8年3月9日
- ・展示解説書の発行

『福生市の中世大量埋蔵銭』B5判、96頁、1,000部

B 企画展示

(1) 「20世紀多摩の文化運動－特に戦後福生の文化運動を中心に－」

期間 平成7年3月14日～5月28日

特に戦後50年を迎えるにあたって、戦後福生で湧き起こった文化運動を中心テーマとして、敗戦後の青年達の行動について考えてみよう企画した展示です。展示した資料は、多摩地域を対象に収集しましたが、福生市民から提供された青年団関係資料、文芸運動関係資料、演劇関係資料が中心で150点余りです。

- ・記念講演会及び座談会の開催

「20世紀多摩の文化運動」

- ・講師 新井勝紘氏(国立歴史民俗博物館 助教授)
- ・日時 平成7年4月15日

(2) 「きものが語る明治・大正」

期間 平成8年2月1日～2月25日

平成6年度に文化財総合調査報告書第28集『森田家三代のきもの』を発行し、また、森田美知子他着用の和服等の資料が市登録文化財52号に登録されたことを記念して企画展を開催しました。展示は着物の柄や布地などの流行にともなう変化と、綿入れから袷

などへの形態の変化などを森田家の三代の着物からうかがうことを目的としています。

- ・展示資料解説会の開催

- ・日時 2月17日、午後2時～3時

C 常設展示

「福生市の成り立ちと人々の歩み」

- ・期間 平成7年4月1日～平成8年3月31日

昭和54年4月の開館以来、テーマは「福生市の成り立ちと人々の歩み」です。この展示テーマのもとに三つの分野別テーマを設け全体を構成しています。利用対象を小・中学生と設定し、各分野のテーマは、歴史分野が「福生の成り立ちと歴史を学ぼう」、民俗分野が「福生の民俗とくらしを学ぼう」、自然分野が「多摩川の自然を学ぼう」としています。この常設展示は、展示室が狭小なことから各分野のテーマは「・・・学ぼう」、「・・・さぐろう」、「・・・観察しよう」といった問題設定の形をとって利用者に関心をもっていたくことをねらいとしています。

D 学習会

子供対象、博物館見学会

中里村恐竜センターと化石産地の見学を行い、天然記念物の保存活動と活用のあり方等について子供達の理解推進に役立てました。

- ・期 間 平成8年3月29日（金）

- ・見学地 群馬県多野郡中里村

E 出版物

a 特別展示解説書「福生市の中世大量埋蔵銭」B5判、1,000部

b 「郷土資料室年報15」B5判、300部

F 市民、団体、研究者等への情報提供、援助、奨励

文化財の保存と活用に関わる学習、研究等を行っている市民、団体及び研究者等への情報の提供や印刷援助等を行いました。

G 多摩郷土誌フェアへの参加

期間 平成7年11月11日（金）より13日（日）まで

会場 立川ターミナルビル「ルミネ」7階ギャラリー（立川市）

多摩地域の各市町村が発刊している郷土誌関係の刊行物を一堂に展示して、紹介と普及を図ることを目的として開催するもので今回で8回を数えました。主催は、27市の社会教

育課長会です。

⑥ 市史の普及

A 福生市史を読む会「市史中世編を読む」

・期間 平成7年9月30日(土)～10月28日(土) 全4回、午後2時～4時

・講師 小林一岳氏(立教大学講師)

『市史』上巻、第二編、中世(鎌倉時代から戦国時代まで)を学習しました。

B 福生市史を読む会「市史縄文時代編を読む」

・期間 平成8年2月24日(土)～3月2日(土) 全2回、午後2時～4時

・講師 大貫英明氏(相模原市立博物館 学芸員)

『市史』上巻、第一編第二章、縄文時代を学習しました。

(4) 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、市教育委員会の諮問におうじて文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について委員会に建議するため8人の委員が委嘱されています。

① 委員

氏 名	分 野	職 業
新 井 勝 紘	有形文化財、史跡	国立歴史民俗博物館助教授
河 上 一 雄	有形・無形民俗文化財	都立飛鳥高校校長
北 原 進	有形文化財、史跡	江戸東京博物館研究室長
高 崎 伊 平	有形・無形文化財、史跡	
高 崎 勇 作	有形文化財、史跡	会社員
多 田 仁 一	有形文化財、史跡	都立八王子高陵高校教諭
田 村 光 男	有形文化財	瑞穂町立瑞穂第二中学校教頭
宮 岡 一 雄	天然記念物	明治大学教授

② 会議の開催

平成7年5月27日 長沢遺跡第9次調査の予定について審議

玉川上水国史跡指定について審議

平成7年7月8日 平成7年度に予定している登録文化財について審議
新発見の遺跡について審議

平成8年3月16日 平成8年度文化財保護事業計画について審議
平成8年度に予定している登録文化財について審議
福生のまつりばやしについて審議
長沢遺跡第9次調査の経過について審議
都指定文化財熊川神社本殿の修理計画について審議

③ 研修の実施

長野県木曽郡南木曽村、楢川村を中心とした地域の文化財保護及び活用状況について視察しました。

平成7年8月24日より8月25日まで

7. 青少年健全育成

青少年が社会の一員として愛され、良い環境の中で心身ともに健やかに成長することを目指し、好ましくない環境の浄化に勤めるとともに諸施策の推進を図っていく。

(1) 青少年問題協議会

青少年問題協議会は、市長の付属機関であり、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立について調査審議し、関係行政機関の相互連絡調整及び意見を求める機関です。

委員数 26人

日 時	会 議 内 容
7月4日	1 平成7年度福生市青少年健全育成夏季対策事業（案）について 2 関係機関より報告 3 善行少年の表彰について 4 福生市青少年の意見発表大会について（案） 5 福生市青少年海外派遣事業について 6 「家庭の日」図画・作文の募集について
平成8年 2月15日	1 平成8年度福生市青少年健全育成事業計画（案）について 2 地区委員長会の事業計画について 3 青少年海外派遣事業について 4 情報交換 その他 *協議会開催に先立ち、青少年問題講演会を実施した。 テーマ 「いじめ」をなくすために一家庭や地域でできることー 講 師 安達倭雅子氏（子ども110番電話相談員）

(2) 青少年問題地区委員長会

地域社会において、青少年の健全育成を図るため青少年問題協議会において調整した施策に協力し、地域の実情に応じた事業を実施し、委員会相互に連携・協力しながら社会環境の浄化を図っていく。

開催日	会 議 名	内 容
4月12日	理 事 会	第4回ふっさ輝きフェスティバルについて
4月12日	地区委員長会	〃
4月25日	理 事 会	〃
4月28日	地区委員長会	〃
5月9日	理 事 会	〃
5月13日	地区委員長会	〃
5月20日		前日準備
5月21日	第4回ふっさ輝きフェスティバル（福生南公園）	
5月31日	理 事 会	フェスティバル反省
6月20日	理 事 会	フェスティバル反省、今後の活動について、役員体制他
6月23日	地区委員長会	新旧地区委員長歓送迎会
6月29日	地区委員長会	フェスティバル反省、今後の活動、危険場所マップについて
7月5日	理 事 会	危険場所マップ、視察研修について
7月19日	地区委員長会	夏休みの活動について、夜間一斉パトロールについて
8月23日	理 事 会	夜間一斉パトロール、視察研修、福祉まつりについて
9月9日	夜間一斉パトロール（市内全域）	
9月20日	地区委員長会	パトロール報告、視察研修について
9月26日	理 事 会	視察研修、軽スポーツ&豚汁会について
10月3日	視察研修（千葉県八街少年院）	
10月5日	地区委員長会	軽スポーツ&豚汁会、福祉まつりについて
10月20日	理 事 会	軽スポーツ&豚汁会について
10月26日	地区委員長会	〃
11月1日	理 事 会	〃
11月11日		前日準備
11月12日	軽スポーツ&豚汁会（多摩川中央公園）	
11月29日	理 事 会	軽スポーツ&豚汁会反省
1月15日	地区委員長会	成人式出席、新年会
1月24日	理 事 会	第5回ふっさ輝きフェスティバル、気をつけようマップ、青少年問題講演会、平成8年度事業計画について
2月5日	地区委員長会	〃
2月22日	理 事 会	フェスティバル、気をつけようマップ、補助金事務手続きについて
3月6日	地区委員長会	〃
3月19日	理 事 会	今後の活動について
3月27日	理 事 会	フェスティバル、気をつけようマップについて

平成 7 年 度 地 区 委 員 会 実 績

地区委員会名	委員数	児童生徒数	地 区 活 動 の 主 な も の			活動数	参加延人数	事業費総額	市市補助金等	そ の 他
熊 川 住 宅	8	125	団地内一斉清掃他	夜間一斉パトロール他	ラジオ体操他	15	1,085	143,287	54,880	88,407
南	16	71	資源回収他	非行防止パトロール	祭礼参加他	9	722	205,975	44,990	160,985
内 出	23	136	町内美化運動他	一斉パトロール	もちつき大会他	13	2,237	111,890	56,890	55,000
武 蔵 野	40	141	資源回収他	夜間パトロール他	餅つき大会他	25	1,493	272,248	57,800	214,448
福 東	22	341	町内美化他	パトロール他	ハイキング他	10	1,670	169,500	94,390	75,110
南田園一丁目	26	157	廃品回収他	夜間一斉パトロール	キャンプ他	23	1,988	160,730	60,730	100,000
鍋 一	14	287	町内清掃	夜間パトロール	いも煮会他	8	685	166,000	84,520	81,480
鍋 二	37	367	交通安全指導他	悪書自販機調査他	歩け歩け運動他	13	935	411,250	99,150	312,100
玉 川 台	19	32	ゲームセンター調査他	一声運動他	講演会他	12	1,275	274,000	37,860	236,140
富 士 見 台	21	68	廃品回収他	一声運動他	もちつき大会他	12	240	70,000	44,440	25,560
福 栄	11	98	資源回収	支部懇談会他	運動会他	21	892	516,280	49,930	466,350
熊 牛	35	327	公園花植え他	ホタル祭街頭指導他	バスハイク他	20	2,002	889,220	91,830	797,390
南田園三丁目	30	114	多摩川清掃	ほたる祭りパトロール	どんと焼き他	5	311	125,023	52,860	72,163
牛 一	19	125	河川清掃	夜間パトロール	キャンプ他	7	487	120,000	54,880	65,120
牛 二	9	189	廃品回収他	各種パトロール	バーベキュー他	23	1,468	533,000	66,590	466,410
原 ケ 谷 戸	35	337	資源回収他	パトロール他	夕涼み会他	16	1,854	570,341	93,660	476,681
志 茂 一	27	259	多摩川河川美化他	夜間一斉パトロール	バスハイク他	22	1,411	106,448	79,400	27,048
志 茂 二	22	179	資源回収他	リーダー懇談会他	キャンプ他	23	1,808	1,264,093	64,760	1,199,333
本 町 第 一	26	17	多摩川清掃	各種パトロール	祭礼参加他	19	213	179,281	35,110	144,171
本 町 第 二	17	35	多摩川清掃他	七夕パトロール	球技大会他	13	239	152,800	38,410	114,390
本 町 第 三	14	27	河川清掃	七夕パトロール	盆踊り大会他	14	434	165,800	36,940	128,860
中 央	8	19	資源回収他	夜間パトロール	川遊び他	9	445	300,480	35,480	265,000
本 六	21	46	資源回収他	交通安全運動	川遊び他	18	1,044	658,284	40,420	617,864
本 七	38	214	廃品回収他	パトロール他	6年生を送る会他	24	1,846	101,160	71,160	30,000
本 八 第 一	52	331	町内花植え他	七夕パトロール他	七夕まつり参加他	40	4,104	1,268,701	92,560	1,176,141
本 八 第 二	49	301	防災訓練他	危険箇所調査他	ビーチバレー大会他	26	2,331	742,078	87,070	655,008
武蔵野台一丁目	25	341	廃品回収他	夜間一斉パトロール	川遊び他	14	1,986	1,051,045	94,390	956,655
加 美 平 住 宅	6	225	ゲームセンター調査他	パトロール他	青空コンサート他	16	750	349,000	73,180	275,820
永 田	30	139	廃品回収他	地域パトロール他	盆踊り他	27	1,421	733,673	57,440	676,233
長 沢	15	155	町内清掃他	パトロール他	親子運動会他	15	1,145	301,326	60,370	240,956
加 美 一	6	65	河川清掃他	夜間パトロール	スキー教室他	25	1,500	127,153	43,900	83,253
加 美 二	22	328	廃品回収他	防犯映画会他	ラジオ体操他	26	3,725	213,299	92,010	121,289
計	743	5,596				563	43,746	12,453,365	2,048,000	10,405,365

(3) 平成7年度青少年対策事業

① 社会教育課、体育館

- 家庭の日推進事業
- 一声運動
- 青少年の社会参加活動推進事業
- 青少協だより
- 青少年問題講演会
- 青少年問題地区委員長会役員研修
- 青少年の主張大会
- 家庭の日 図画、作文募集
- 善行少年表彰
- 子供自然観察会
- 各種運動（家庭の日 一声運動） チラン配布
- 水泳教室（小、中学生）
- 小学生バレーボール教室
- 小学生バスケット教室
- 小学生バドミントン教室
- 幼児体操教室
- 親子スポーツ教室
- 夏休みジュニアスポーツスクール

② 市民会館、公民館

- 冬休み工作教室
- サバイバル教室
- 児童合唱教室
- 子ども教室94
- ファンタスティック
- たんけん教室
- 子ども昆虫博士になろう
- 白梅親子映画

③ 図 書 館

○しゃぼんだまであそぼう

○おもちゃ展

○クリスマス会

○おはなし会

○子ども映画会

(4) 地区活動への援助

① 補 助 金

○地区委員長会への補助金

○地区組織活動補助金

○青少年の社会参加

② その他の援助

○事務的援助（コピー、印刷等）

○各種大会等の開催援助（野球用具、レクリエーション、備品等の貸出し）

○講演会、研修会の開催援助（講演の紹介、会場の確保）

8. 青少年海外派遣事業

(1) 目 的

青少年を海外に派遣し、その国の歴史を学び、文化及び風土に直接接し人々と交流することによって、相互理解を深め将来、国際的な視野に立って活躍出来る人材の育成を図っていく。

(2) 対 象 者

○平成7年4月1日現在において、福生市に引き続き1年以上住民登録をしていること。

○学校教育法に基づく中学校第1・2学年に在学していること。

○心身共に健康で協調性に富み規律ある団体生活が出来ること。

○派遣生としての体験を生かして、帰国後も地域や学校において活発な活動が出来ること。

○保護者の承認が得られること。

○福生市の海外派遣事業に参加した者は除く。

○事前・事後研修に全て出席できること。

(3) 応募方法及び申込期間

写真を添付し「福生市青少年海外派遣参加申込書」に必要事項を記入して提出する。

平成7年2月1日～平成7年2月28日

(4) 応募状況

学 校 名	男 子	女 子	計
市立第一中学校	4	8	12
市立第二中学校	5	12	17
市立第三中学校	0	7	7
私 立 中 学 校	4	11	15
計	13	38	51

(5) 派遣選考結果

中学生12名（男子2名、女子10名）

(6) 派遣日程

7月26日（水）～8月10日（木）

(7) アメリカ合衆国アラバマ州他

(8) 帰国報告会

平成7年8月21日（月）

商工会館 3階 ホール

9. 集会施設の利用状況

(1) 扶桑会館利用状況

区 分 月	集 会 室		和 室		会 議 室		合 計			
	申請	人	申請	人	申請	人	申請	人	使 用 料	
	件数	数	件数	数	件数	数	件数	数	件数	金 額
4	40 ^件	738 ^人	24 ^件	275 ^人	19 ^件	196 ^人	83 ^件	1,209 ^人	23 ^件	35,200 ^円
5	35	646	28	410	24	193	87	1,249	30	29,900
6	38	796	27	370	27	352	92	1,518	17	15,100
7	37	728	26	327	31	277	94	1,332	28	28,400
8	30	648	25	270	7	63	62	981	19	21,700
9	32	578	30	341	22	202	84	1,121	42	46,100
10	39	847	19	372	24	183	82	1,402	26	28,300
11	33	438	28	290	27	201	88	929	32	33,100
12	29	470	26	277	22	179	77	926	22	25,200
8年1	34	582	24	296	20	215	78	1,093	31	28,000
2	38	516	28	296	32	256	98	1,068	28	25,800
3	44	682	21	307	31	263	96	1,252	22	24,500
合 計	429	7,669	306	3,831	286	2,580	1,021	14,080	320	341,300

(2) かえで会館利用状況

区 分 月	集 会 室		和 室		会 議 室		合 計			
	申請	人	申請	人	申請	人	申請	人	使 用 料	
	件数	数	件数	数	件数	数	件数	数	件数	金 額
4	33 ^件	707 ^人	26 ^件	410 ^人	21 ^件	477 ^人	80 ^件	1,594 ^人	17 ^件	23,200 ^円
5	31	532	29	420	26	211	86	1,163	18	17,700
6	43	585	35	462	19	448	97	1,495	31	28,200
7	32	917	30	671	27	889	89	2,477	16	14,400
8	36	429	26	312	24	194	86	935	22	17,700
9	40	461	21	280	27	306	88	1,047	27	23,400
10	30	402	18	223	23	182	71	807	15	12,900
11	29	460	28	335	20	167	77	962	25	26,100
12	28	422	14	151	19	210	61	783	16	12,900
8年1	45	459	27	361	28	261	100	1,081	26	27,300
2	59	642	26	423	32	320	117	1,385	22	20,700
3	37	430	23	216	16	148	76	794	26	22,200
合 計	443	6,446	303	4,264	282	3,813	1,028	14,523	261	246,700

10. 展示施設の利用状況

(1) プチギャラリー利用状況

区 分 月	物産展示室		第一展示室		第二展示室		合 計			
	申請	利用	申請	利用	申請	利用	申 請	入 場	使 用 料	
	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件 数	者 数	日数	金 額
4	— ^件	— ^日	5 ^件	26 ^日	3 ^件	14 ^日	8 件	1,048人	— ^件	— 円
5	1	3	4	23	3	17	8	1,421	—	—
6	1	3	4	22	1	6	6	1,713	—	—
7	1	3	1	2	1	26	3	513	—	—
8	2	6	1	3	1	27	4	604	1	5,000
9	4	20	1	7	1	26	6	1,866	—	—
10	6	25	5	21	1	26	12	2,722	6	30,000
11	5	24	3	16	1	26	9	1,505	21	165,000
12	4	21	4	20	1	24	9	1,642	7	70,000
8年1	5	16	1	6	1	24	7	1,233	6	30,000
2	5	22	3	16	1	25	9	2,045	4	40,000
3	3	9	1	6	1	27	5	1,230	—	—
合 計	37	152	32	168	16	268	86	17,542	45	340,000

(2) 展示内容 絵画(28) 工芸(16) 写真(12) 彫刻(4) 手芸(4) 書道(3)

研究発表(3) ポスター(2) 陶芸(2) サツキ(1) 押花(1)

その他チ(11)